

## F-2 : 産官学金連携

開催日時・会場 9月20日（木曜日）9:00-10:30 402(4階)

### 産学官連携リスクマネジメントモデルについて

産学官連携活動の強化が求められる中、企業との連携を進めることは、客観的で公平・公正な教育研究活動を担う大学等にとって、種々のリスク要素をもたらす可能性がある。大学が社会とのつながりを求めていく中で、大学の社会的信頼を維持・確立し、研究者の名誉・信頼を組織的に守ることは、産学官連携活動を加速するために必要不可欠であり、そのためにリスクマネジメント体制の構築に取り組むことは非常に重要な課題である。

今回のセッションでは、文部科学省産学官連携リスクマネジメントモデル事業における三重大学を幹事機関とした取組みの成果をもとに議論を進める。同モデル事業は、全国の大学等に適切な産学官連携リスクマネジメント体制の導入を促すためのもので、幹事機関の三重大学、協力機関9大学(岩手大学、群馬大学、新潟大学、山梨大学、福井大学、豊橋技術科学大学、山口大学、大分大学、宮崎大学)からなるネットワーク組織では、とくに中小規模大学における体制構築を目的として事業を推進してきた。三重大学においては、平成29年度からの本格運用に基づき、「三重大学モデル」のブラッシュアップを行うと同時に、協力機関9大学においても、それぞれの地域性、産学官連携活動の特徴、研究科・学部構成、マネジメント体制、強みのある研究分野等に応じて、「三重大学モデル」をカスタマイズしてきた。

今回、産学官連携リスクマネジメントの中でも、「中小規模大学・地域圏大学技術流出防止マネジメントモデル」について、三重大学、宮崎大学及び福井大学の事例を発表し、参加者とともに議論を進める。このことにより、全国の主に中小規模大学が取り組む、より効率的な産学官連携リスクマネジメント体制構築の一助となることを期待している。

### オーガナイザー

山口 光男 : 福井大学・総合戦略部門研究推進課・課長



福井県立大学大学院経済・経営学研究科博士前期課程修了。1982年から福井大学文部事務官として主に人事系を担当。2003年から研究推進課で主に産学官連携体制やURAシステムの構築、研究推進関係制度設計に従事。2013年から研究推進課長・URAオフィス副所長。現在、同オフィスは産学官連携本部に統合され、同本部研究企画・管理部がその機能を引き継いでいる。同部副部長を兼任中。修士(経営学)。

## 講演者

狩野 幹人:

三重大学・地域イノベーション推進機構・准教授(知的財産統括室副室長)



2003年、三重大学大学院生物資源学研究科において博士号(学術)取得後、2004年、三重大学知的財産統括室助手。同室助教、社会連携研究センター助教を経て、2013年より同室副室長、2015年より同センター准教授、2016年より現職。主に知財マネジメントや技術移転に従事する他、利益相反、秘密情報管理、安全保障輸出管理に係る学内委員会委員・該非判定責任者など、ABS指针对応を含めたリスクマネジメントにも従事。2015年より大学院地域イノベーション学研究科准教授を兼務。

長濱 秀樹:

宮崎大学・産学・地域連携センター知的財産部門・助教



宮崎大学産学・地域連携センター知的財産部門助教。2007年埼玉大学院理工学研究科博士後期課程修了、博士(理学)。専門は、分子生物学、分子遺伝学。博士号取得後、ライフサイエンス系の博士研究員として、微生物を材料とした研究業務に従事。その後、2015年から宮崎大学にて知的財産業務を中心に、産学連携や競争的研究資金獲得支援等も経験。昨年度からは、学内の産学官連携リスクマネジメント体制の構築にも取り組む。

樋口 人志:

福井大学・産学官連携本部／知的財産・技術移転部・特命教授



1981年東北大学工学部電子工学科卒。民間企業に入社し、研究開発、新規事業の立ち上げに従事。その後、知的財産部門に異動し、現場密着型の知財体制を構築し、権利化実務、知財リスク対応、知財戦略の策定実行。2016年8月から、福井大学産学官連携本部にて発明発掘から技術移転までを担当。企業経験を活かした視点から大学シーズの効果的な権利化、契約、知財活用、知財戦略等の知財マネジメント活動、それらを駆使したシーズマッチング活動を推進中。弁理士。